

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ
 国立病院機構福岡病院

福岡病院での診療情報を下記の研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究代表者	本村知華子
2. 研究課題名	アデノイド切除扁桃摘出後にポリソムノグラフィーを行った症例の検討
3. 研究の概要 (個人情報利用の目的)	<p>[研究の背景] 小児の閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA: Obstructive sleep apnea) は、睡眠中に上気道が閉塞することにより無呼吸や低呼吸を生じます。症状は夜間のいびき、無呼吸、陥没呼吸だけではなく、神経精神機能・認知の問題や行動の障害、顎顔面の劣成長、成長障害や肥満など多彩であり、治療介入が遅れると長期的な障害が生じる恐れがあります。3～6歳の未就学児では、多くがアデノイド増殖・口蓋扁桃肥大を原因としますが、就学以降は肥満との関連性が強くなります。有病率は1.2～5.7%とされ、小児科の日常診療で遭遇する頻度が高い。閉塞性睡眠時無呼吸小児はアデノイド切除扁桃摘出術後ほとんどの症例で症状が改善するが、いびきの再発を認める例を経験します。</p> <p>そこで術後に無呼吸低呼吸指数が高い症例の特徴を明らかにする目的で、ポリソムノグラフィー検査を行った291例のうち、アデノイド切除扁桃摘出術もしくはアデノイド切除、扁桃摘出術単独術後にポリソムノグラフィーを行った例を調査します。</p> <p>術後にポリソムノグラフィーを行い、術後に無呼吸低呼吸指数が高い症例の特徴を明らかにする目的です。</p>
	研究期間(データ収集期間)承認後から2025年12月31日
4. 使用する診療情報	<p>診療情報内容: 術後ポリソムノグラフィー時年齢、無呼吸低呼吸指数、症状の有無、合併症、手術からポリソムノグラフィー検査までの期間、手術時の年齢、術式、術前ポリソムノグラフィー時の年齢、無呼吸低呼吸指数</p> <p>対象診療期間 2017年6月～2023年9月</p>
5. 使用する検体	該当なし
6. 病名	閉塞性睡眠時無呼吸

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会等において厳重に審査され、承認されています。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いることを拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

国立病院機構福岡病院管理課

管理課長

住所 : 〒811-1394 福岡市南区屋形原4丁目39-1

電話: 092-565-5534

FAX: 092-566-0702

(お問い合わせは、なるべく、FAX又は郵送でお願いいたします。)